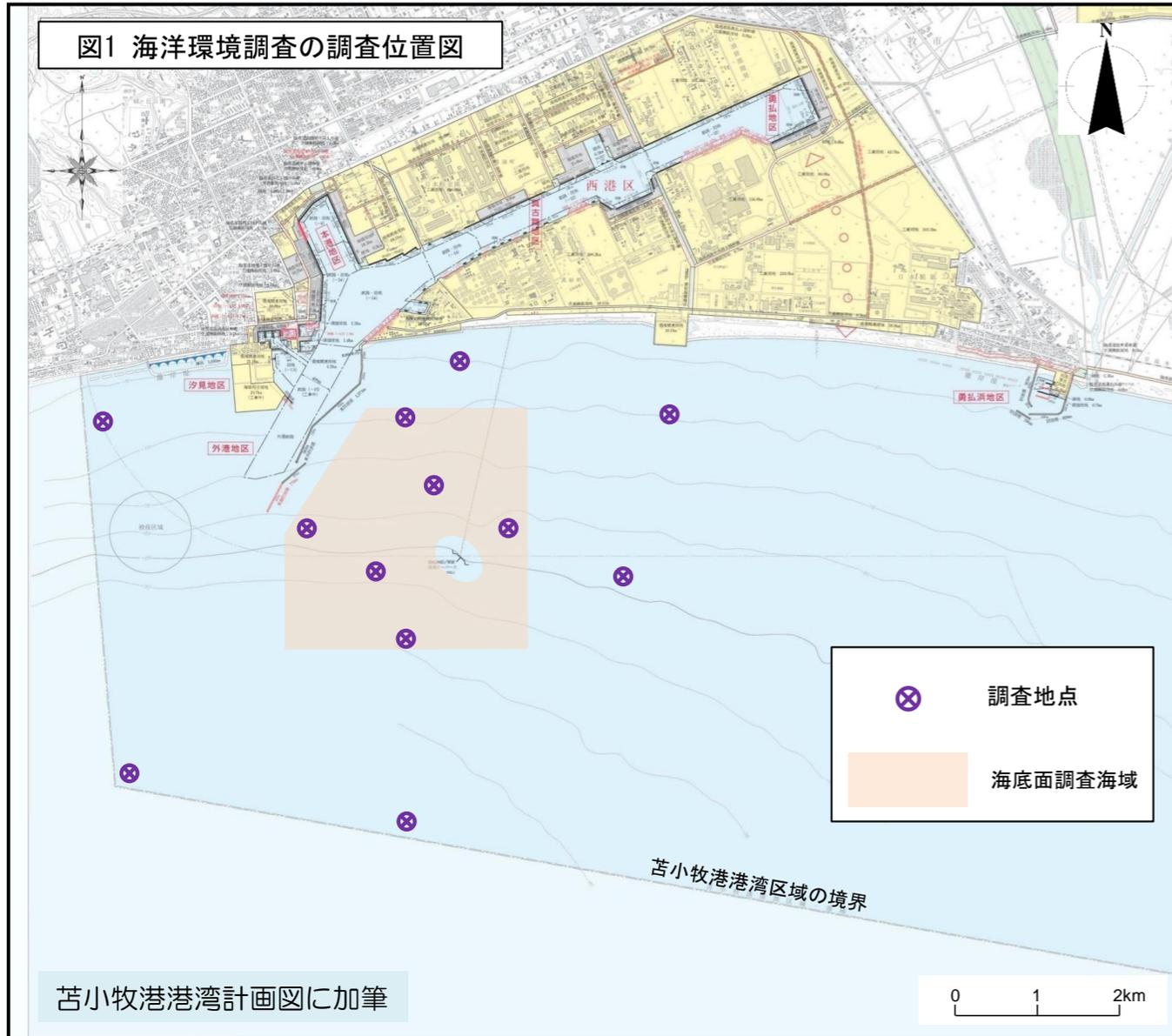


苫小牧地点におけるCCS大規模実証事業：海洋環境調査の実施について (経済産業省委託事業)

1. 概要

苫小牧におけるCCS実証事業では、苫小牧港港湾区域内においてCO₂貯留対象地点直上および周辺海域の現況を把握するための調査を開始します。

調査地点は図1に示す12点を予定しています。各地点では直径100mの範囲で海水や海洋生物の調査を実施します。また、3km四方の海域では海底面の状況を調査します。



2. 調査方法

- ① 音波を使用する探査装置(サイドスキャンソナーとサブボトムプロファイラー)により、海底面の起伏や堆積部の状況を調査します。
- ② 流向・流速計により、海水の流れの方向と速さを調査します。
- ③ 採水器で海水を採水し、塩分濃度などを測定するとともに、プランクトンの状況を調査します。
- ④ 採泥器で海底堆積物を採取し、粒度等を調査します。
- ⑤ 網で底生生物を採捕し、種類、数などを調査します。
- ⑥ ROV(自走式水中カメラ)により底生生物を撮影します。



調査船



サイドスキャンソナー



採泥器



網



ROV

3. 夏季調査のスケジュール(予定)

作業項目	平成25(2013)年8月																															
	1							10							20							31										
海底面調査 ①																																
流向・流速、海水、プランクトン調査 ②③																																
海底堆積物、底生生物調査 ④⑤⑥																																
予備日																																

* 調査の作業時間は、原則として8:00~17:00の間で、夜間作業は行いません。

* 天候や海況によって、多少調査期間の変更があり得ます